

弓道ながの

第60号

発行：長野県弓道連盟
会長 外蘭公毅
〒399-4117
駒ヶ根市赤穂10214-4
TEL0265(83)5206
編集：県弓連
印刷：県成進社

巻頭言

ジュニアへの対応

長野県弓道連盟会長 外蘭公毅



弓士の皆様には新しい年を迎え、今年こそは課題達成に向けて精進しようと決意を新たにされています。

本年もよろしくお願い致します。さて、国体で弓道が存続できるための条件の一つにジュニアの充実が挙げられています。しかしこれは五輪あるいはアジア大会種目に対して言われていることであり、その種目でない弓道にはあまり関係ないように思えます。というより高校のクラブ活動状況を見ると弓道は他の運動クラブと比べてもまったく遜色なく、長野県では高校の運動クラブでは弓道が一番盛んと聞いています。

弓道のジュニアとはどの年齢範囲をいうのでしょうか。小学生から高校生ぐらいまでをいうのでしょうか。私がこれまで見ていて中学校で弓道を始める重要性はあまり感じていません。むしろ今高校で弓道をやっている人たちにいかに続けて弓道をやってもらおうかを真剣に考えるべきかと思えます。全国的にも高校生弓士は一般会員の倍近くいます。長野県も約二千七百名の登録者があり、北信越五県の高校生弓士の約半数を長野県が占めています。全国でも上位から五、六番目に入っています。しかしながら続けて弓道をやってくれる、いわゆる残存率は極めて低いのです。これは長野県に限りません。高校で弓道を始めた場合、高校三年間で弓道ができる期間は実質二年しかありません。三年生の六月のインターハイの県予選が終わると特定の人以外はク

ラブ活動を止めて卒業するまで弓から離れてしまいます。せっかく弓道が面白くなってまだ続けたいと思っているのにしばらく引かずにいると熱が冷めてしまいます。その期間がもったいないのです。

わが道場では弓道教室に高校生を受け入れるようになって十年以上になりますが、二ヶ月の教室が終わると曜日を決めて教室修了生も一般会員と一緒に練習をしてもいいようになっていきます。それはとりもなおさず高校を卒業してすぐとは思っていませんが、いつかは弓道を再開してくれるだろうという希望があるからです。高校時代に一般の道場と関わりを持っていると戻ってきやすいのではという思いからです。しかし待っていては戻ってこないし、遅すぎるといことが分かりました。

昨年あたりから六月の高校総体県予選会が終了してまだ熱が冷めない内に支部会員或いは市体協弓道部に勧誘するようにしました。支部長の計らいで高校生は県弓連への分担金はないので入会しても支部会費は徴収しないというようにしてもらえました(入会に際しては高校弓道顧問の了解を得てください)。入会後は支部や市体協の月例会、行事には参加できるようになり、普段の練習も続けてくれるようになります。以前から十一月末にある国体一次予選会にも優秀な高校生を見つけては挑戦するように声かけをして参加させ

るようにしていました。

支部対抗戦のメンバー揃えに苦勞している支部もあるかと思えます。六月に支部会員に登録されればメンバーに加えられるという手もあります。各道場の周りには高校生弓士が必ずいるはず。日頃から高校生弓士と関わりを持ち、各道場が毎年一人でもいいので会員を増やせられれば何年か後には会員も増えるし、若返りも図れます。

毎度申し上げるように県弓連も高齢化してきました。十年前には信じられなかったことですが今年には五十歳以下の教士がいなくなっていました。秋にやると三十代の教士が一人誕生しました。地道な活動で若手会員を増やすことをお願いして、今年是天変地異のない良い年でありませうお祈り申し上げます。



教室を終了した高校生達と 11月8日 駒ヶ根市弓道場



追悼

山川茂樹先生の在りし日を偲んで 神の手と云われて

上伊那支部長 柴 種徳



故・山川茂樹先生

山川茂樹先生が体調を崩されてから一年余り、昨年の九月にお亡くなりになってから、もう四カ月余が過ぎようとしています。

今でも道場で弓を引いていると先生の声が聞こえ、姿が見えてくる様な気がしてなりません。まさか追悼文を書く時がこようとは…。

先生から教えを受けられた方なら誰しも身に覚えのある事だと思えますが、引いている私達の傍にみえてちよつと手を添えて頂くだけで、今迄に無かった鋭い離れが生まれ、的中し気持ちの良い残身が執れたものです。その添えてくれる手は、或る人は取懸けの時であったり、打越しであったり、又、大三の時だったり…。

其々の引手が常日頃気にしている処

に先生が手を添えてくれるだけで、射

が変わる、変われる…。その手の感じは

極僅かに変わる感じで(よし、これなら

自分でも直せそう)と思ひ、的前に立つ

て引いてみると何処かが違つて再現

されません。先生は「そうではないよ」

と、笑いながら再び手を添えてくれま

す。そしてやつぱり「上手く引けた…」

道場の仲間の内では、

「大会の時にも、あの手が欲しいね」

「それよりも、審査の時にあの手があつ

たらなあ〜」

やがて何時しか先生の手を仲間内では

「神の手」と云う様になりました。

もはや今一度とお願ひする事は叶わ

なくなりましたが、今も手首に、右肘

に、そして手の内に残っている「神の

手」の感触を忘れない様に思ひ出しな

がら、先生が常日頃言っていた弓道の

美しさは、

「素直な心と素直な身体から生まれる、

左右対称の美しさだよ」

そんな先生の弓の道に一步でも近づ

けるように、先生の教えを思いながら

日々の一本の矢を大切に稽古に取

り組んでいきたいと思ひます。

先生が昨年の春に出版された『弓道の美しさに魅せられて』を、改めて拝読させていただきました。

ご家族の事(特に奥様への感謝の言葉)、仕事への取り組み方は勿論の事、弓道に対する深い想いが綴られています。

先生は、昭和二十九年に職場の弾塚先生から弓の教えを受け、昭和三十九年に錬士、昭和五十年には教士となり、平成六年五月八段に合格され、平成十一年五月に範士となられました。その間、県弓道連盟の各役員を務め、平成十九年からは、県連会長として各分野のシステム化に取り組み、今の基を築かれました。又、全弓連では永年全弓連指導者として日本各地での審査会審査員・講習会講師はむろんの事、平成八

年の第六回アメリカジャパニウムに

日本武道代表団の一員として参加さ

れ、平成十二年には第五回弓道アメリ

カセミナー2000の講師として再び

渡米されて、日本弓道の普及に尽力さ

れてきました。そんな先生の功績に対

して、平成二十三年にスポーツ功労と

しての「旭日双光章」を受章されたこと

は、まだ記憶に新しい事だと思ひます。

此の著書は、山川先生の生涯を貫い

た「射即人生」の集大成そのものの総てが

収められていて、今後の私たち弓引き

の指針となる大切な一冊です。

山川先生、いつまでも私たち弓引き

の心の中にあつて「神の手」を添えて下

さい。幾多のご教授を有難う御座いま

した。

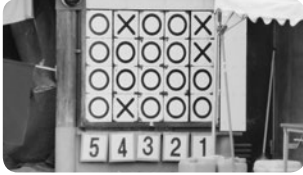
ご冥福を、心よりお祈り申し上げます。



生前一番お気に入りだった八段昇段祝射会での写真

平成28年度 壮行会・長野県弓道支部対抗競技会

平成28年9月4日(日) 長野運動公園弓道場



団体的

- 優勝** 飯伊支部
坪井優、井原寿恵、常盤三男、下平春夫、平澤敏弘
- 2位** 木曾支部
宮原勝広、上田昇、林貴徳、野田陽子、大島健裕
- 3位** 諏訪支部
内山寿美、柴翔太、飯野勇希、志村仁、市川隆光
- 4位** 佐久支部
清水北登、持田武二、金原正、大井峯幸、篠澤英次
- 5位** 上小支部
竹花葵、志野純也、手塚信幸、黒岩宥人、藤森千友貴

団体的

- 優勝** 諏訪支部
柴翔太、岩原祐貴、川村綾美、飯野勇希、市川隆光
- 2位** 飯伊支部
中村健二、坪井優、井原寿恵、常盤三男、平澤敏弘
- 3位** 安曇支部
渡辺兎、帯刀康真与、高原健、相馬孝寿、松井幸彦
- 4位** 上小支部
竹花葵、戸田裕子、柳沢真純、黒岩宥人、藤森千友貴
- 5位** 須高支部
小山謙太郎、原周一郎、神津明男、永藤聡、新津一夫

個人的

- 優勝** 平澤 敏弘 (飯伊支部)
- 2位** 志村 仁 (諏訪支部)
- 3位** 井原 寿恵 (飯伊支部)

個人的

- 優勝** 市川 隆光 (諏訪支部)
- 2位** 藤森千友貴 (上小支部)
- 3位** 松井 幸彦 (安曇支部)



飯伊支部



国体選手・全日本弓道選手権大会出場選手の答礼射



第71回希望郷いわて国体



成年 男子 二連覇達成!!

国体史上二景目の快拳

連覇を達成した選手の皆さんにお話を伺いました。

—— 昨年の全的中を果した決勝、そして十五年ぶりになる同種目の連覇、二年連続で歴史に名を刻んだわけですが、今の心境は如何なものでしょうか？

清水北登選手



自分の力では到底たどり着けないことだと強く感じています。チームメイト、コーチ・監督、チーム長野の総力での結果であると思います。

小田切祐典選手



安堵しているというのが率直な感想です。今年も応援してくださった県内外の弓士の方々に心から感謝しています。ありがとうございます。

平澤敏弘選手



出場するからには頂点の優勝だけを目標に今まで練習を積み重ねてきましたので、その目標が達成出来て本当に嬉しく思っ

ています。昨年の様に全的中とは行きませんでした。数回の射詰めも競り勝ち長野県の底力を発揮できたと思います。

—— 今年の決勝トーナメントはプレッシャーもあったかと思いますが、どんな決意で臨まれましたか？

清水選手

試合前は不安、緊張、焦り等様々な感情がありました。いざ始まる余計な事は考える余裕は無く、そのおかげか競技に全力で取り組みました。とにかく目の前の一本に全てを懸ける気持ちでした。また予選でフラッシュを焚かれましたが、注目してもらっているとポジティブに考えていました。

小田切選手

自分のすべきことを、一本一本きちんとやる。毎試合入場前に、大口監督に言われた言葉です。そのことに徹しました。今年もチームを組んでもらった二人は最高のメンバーです。一つも簡単な試合がない中、助けてもらいながら、運も引き寄せ勝ちあがることができました。ベストをこなせば結果はついてくる、このチームは絶対に負けないと信じて試合に臨みました。

平澤選手

二連覇のプレッシャーはあったと思いますが、どんな試合でもプレッシャーを意識しないように意識しております。決勝トーナメントでは、「中てたい」とか「勝ちたい」と思うより、一試合で自分に任された四本の中の一本一本を練習通りきちんと正しく引くことを意識して臨みました。

—— 普段の稽古は週に何回くらいで、何射位引きますか？ また稽古で心掛けていることはどんなことでしょうか？

清水選手

基本は週七です。平日は十二〜二十射、休日は四十射ほどで、「この一射が外れたら負け、中つたらやっと同中」とプレッシャーをかけながら練習しています。気楽な練習をしないよう心掛けています。

小田切選手

稽古はほぼ毎日行います。引かない日は月に一度あるかどうかです。矢数は少なくとも二十射、多いときは百射を超えます。普段は、地元の先生、国体強化部の先生方に言われたことを身につけられるように心掛けてながら引いています。

平澤選手

可能な限り毎日練習するように心掛けております。ただ、仕事等が忙しく練習が出来ない時もありますので、休んでも一日までとして二日連続で練習を休む事が無いように気を付けております。一日の矢数は四十射程度です。日頃の練習では、ただ矢数を多く掛かるだけではなく一射を充実させ本番を意識した練習を心掛けております。

——これから来年の国体に向けて予選会が始まりますが、意気込みなどお聞かせください。

清水選手

怪我をしてしまい、今は弓が引けない状態です。高校から弓を始め十年、一週間以上休んだ事はありませんでしたので今後が不安ですが、出遅れる分はどんな手を使っても取り返してさらにパワーアップして復帰します。

小田切選手

来年の愛媛国体に向けた挑戦は既に始まっています。とは言え、追われる立場ではなく常に挑戦者だと思っております。来年も長野県成年男子として必要とされる選手になれるよう、今年も精進に努めます。全力

を尽くします。

平澤選手

先ずは県内の厳しい予選を勝ち抜いて代表選手に選ばれることを目標に、これからの冬の稽古に励みたいと思います。愛媛国体の代表選手に選ばれましたら、近的三連覇と共に遠近制覇を目標に頑張りたいと思います。

弓道競技 成年男子 近的

近的「二連覇」！ 長野県弓道連盟にとって、初めて手にする喜びです。その場に立ち会えた喜びは監督である私以上に、選手にとっても今までにない喜びであったと思います。

昨年暮れから始まった2016いわて国体の県代表選手の選考会。冬期間の強化練習を経て、最終選考会で、昨年と同じ選手たちが選考されました。昨年の体協だよりも記していますが、「的中至上主義でない」、国体あるいは全日本選手権大会に出しても恥ずかしくない射法射技を身に付けた選手たちで臨んだ国体でした。

選手たちは、前年度優勝ということ顔をみださず、一日目の遠的(60m)の予選に臨みました。結果は、1中足らずに落選となりました。相当のプレッシャーを感じながら競技したと思えます。二日目の近的予選、ここで落選すれば三日目以降の試合はありません。一日目より更にプレッシャーを受ける中での競技です。一回目は三人ともすべての中し12中。二回目は二人が一本ずつ外して10中、計22中でした。予選結果は同中の二位通過でした。

決勝トーナメントでは、第二試合で地元岩手県との対戦となり、二人が一

本ずつ外し10中、相手も10中となり、一人一本ずつの競射で3中、岩手県21中の同中で競射3-3、3-1で競り勝ち決勝戦へ駒をすすめました。決勝戦は北信越国体でも総合優勝をかけた対戦した石川県、11-9で辛くも勝利し、二連覇となりました。表彰式では、全日本弓道連盟会長からも二連覇のお褒めの言葉をいただきました。県体協をはじめ地域、職場、家庭の皆さんからのご支援にお礼申し上げます。今後も選手が十分に稽古できますようご支援、ご協力をお願いいたします。

(監督 大口晴男)



平成二十八年度 祝射会 (於：塩尻市弓道場)

11月20日(日)平成28年度長野県弓道連盟祝射会が、塩尻市弓道場に於いて開催されました。表彰式の後、霧のたち込める幻想的な中での矢渡に続き、参加者の一手祝射、受賞者による答礼射が行われました。本年は、二連覇という快挙を成し遂げた国体成年男子の皆さんをはじめ大会入賞者、教士昇格3名、錬士昇格9名の皆様を、約60名の参加者がお祝いを致しました。その後、中信会館にて祝宴が盛大に催され、今年の行事の良い締めくくりとなりました。



祝射会招待者

《敬称略》

招待者(21名(内4名欠席))

■平成28年度優秀支部表彰
飯伊支部

■入賞者

○第71回岩手国体

・成年男子の部 近的優勝・遠的6位

監督 大口 晴男(飯山)

清水 北登(佐久)

小田切祐典(小諸)

平澤 敏弘(飯伊)

○第34回全国高等学校弓道選抜大会

・優勝・長野吉田高校

監督 市村 佳一

村本 直輝

丸山 稜斗

依田 尚大

土屋 息吹

・技能優秀者

塩釜 圭礎(長野日大)

■昇段・昇格者

・教士 中田 真也(上伊那)

中村 美穂(上伊那)

平澤 敏弘(飯伊)

中村 健二(飯伊)

・錬士

谷 京子(長野)

高橋 正弘(上小)

常盤 三男(飯伊)

市川 隆光(諏訪)

大塚利恵子(中高)

白澤 恒夫(長野)

清水 北登(佐久)

中沢たみ江(佐久)

明けましておめでとうございます

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
12人立2ヶ所
遠的道場 1ヶ所

弓道合宿予約随時受付中!

帝産ロτζヂ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山1003

HP: <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは0267-98-2861

平成二十八年度

ミドルセミナーに参加して

安曇支部 四段 柴野 恭弘

九月十日・十一日、塩尻市弓道場にて、平成二十八年度のミドルセミナーが開催されました。講師に、宮坂博之先生(教士七段)、新津一夫先生(教士六段)、高木涼子先生(教士六段)をお迎えしてのセミナーで、受講生は、両日とも約三十名でした。

一日目は、まず、介添についての指導をいただきました。

「第二介添は、矢が塚に来た後、いきなり立つのでなく、射手が残心に入っている間に指建礼にする。観ているものの意識はその間射手に注がれる。いきなり立ったのでは、余韻が残らず、観ているものの意識も第二介添に飛んでしまう恐れがある。射手を立て、残心の間にさりげなく指建礼にする。その位の余裕が欲しい」という言葉が印象に残りました。

介添練習を行っているときも、その見返しをしているときも、あの動きこの動きと、とかく自分の動きが気になり、ついつい射手のことを離れて考え、ついでに自分のことを反省した次第です。



続く宮坂先生の射技の指導においては、「離れ」についてのお話をいただきました。「日本語には、お茶が入りましたという言い方がある。茶が勝手に入るわけではないのだが、『入りました』という。離れは、『離れる』であって『離す』のではない。そこに、自分があつてはならない。結果、『中る』のである。『中てる』のではない。その意味で、上達するには自分を捨てること大切である」というお話がありました。

無意識の状態になかなかならず、ついついいらぬことを考えてしまう私ですが、そのような境地をめざし、稽古したいと思いました。

夜は、場所を移しての懇親会に参加させていただきました。弓道談義に花が咲き、時間を忘れ楽しいひと時を過ごさせていただきました。

二日目、新津先生、高木先生に射技指導をしていただきました。

正しく足踏みをして平らに打ち起こし、平行を意識しながら大三に移行し、その平行を最後まで持続させることの大切さを話していただきました。実際に新津先生が何射かしてくださり、その大切さがよくわかりました。

個人指導では、「まあまあいいが、怖い顔つきだ」とのお言葉。緊張が顔に出ては、上半身にも力が入りがちで、大きな射ができない。気を下に置いたの射を、とのご指導をいただきました。上半身に無駄な力を入れることなく、大きな射を心がけて参りたいです。

初めてのミドルセミナーへの参加でしたが、二日間で、たくさんの教えを得ることができました。教えていただいたことを胸に留め、自分自身の射が変わっていく様、精進して参りたいと思います。ご指導くださった先生方、ありがとうございます。



謹賀新年

遠的ダンボール白黒 (79cm・100cm)
遠的ダンボールカラー (100cm)
遠的紙カラー貼り合わせ (100cm)

〒380-0935
長野市中御所1-12-5
TEL ▶ 026-228-3443
FAX ▶ 026-223-4855
通常 ▶ 8:00~18:00
日・祝 ▶ 8:00~17:00
定休日 ▶ 月曜日

全日本弓道具協会会員



有限会社 中島弓具店

URL ▶ <http://www.nakajima-kyugu.com>

E-mail ▶ info@nakajima-kyugu.com

私と弓道

安曇支部 練士五段 上條 誠

弓道との出会いは、「お父さんも、始めませんか」の小林幸子先生のお言葉でした。小学三年生の息子が弓をやりたいと言うので、妻が「弓道は姿勢も良くなるし集中力が付くし、自宅の近くに道場が有るよ」と教えられて始めました。私がたまたま稽古に送っていた時の先生の発言により始めた弓道でした。その魅力に夢中になり飽きっぽい性格の私が、よく約二十八年間も続けられたと思います。

その間ご指導を頂いた故小林基美夫妻と故平林久男先生はじめ、中信地区の先生方に大変お世話になりました。そんな私の弓道人生の中で、一番心に響いたお言葉は、厳しい評判の先生に「嫌なことが有っても弓



外 蘭公毅県連会長、百瀬 正中信地区副会長はじめ、 県内の先生方には、これらもご指導を頂けましたら幸いです。その際はよろしくお願い申し上げます。

はやめるなよ、困ったら俺の所に来なさい」と、あの時にお声をかけて頂いていなければ、私は弓を続けて来なかったでしょう。その後も節目毎に適切な助言を頂きました。

支部長となり約十二年になります。支部の先導役として、先の先生方の様に適切に導けたか疑念を抱いております。日々の修練の中で教える躰、慎み、和敬、克己、反省心、の徳目の体徳を心がけて稽古をしています。未熟な私にとってこれからも体徳は課題となり続けるでしょう。私の弓の進歩は亀の歩みですが、初心を忘れずに基本に徹して、土川俊市先生に教えて頂いた「一射絶命」を目標にして精進をするとともに、杉田博先生の範士昇格祝射会の、竹内律子先生の祝射の様に、感動を与える射を目指したいと思えます。多少老化が始まってきましたが、自分に厳しく続けていければと思っております。

トピックス

市民大学講座に参加しました

飯伊支部 小松 哲

それは二十八年一月でした。四十回目を数える飯田市市民館主催の表記講座(八講座)に弓道をお願いしたいと要請を受けたのです。

初体験のことであり、執行部で十分練り、一時間を講演、一時間を演武にする構成で受けました。

十月二十七日の晩、飯田市営弓道場隣接の公民館で『真・善・美』美しき

弓道』から学ぶもの』と題して松島貞治飯田・下伊那弓友会副会長がユーモアたっぷりの講演を行い、八十名の聴衆に感銘を与えました。

後半は市営弓道場に移り、弓士十二名が、矢渡・競技・持的射礼の演武を行い、これまた支度(和服)・間合い・的中に感動を呼びました。



弓仲間紹介

上田城流鎗馬

上小支部 練士五段 高橋 正弘

上田市弓道協会は、平成二十八年七月二十四日に、「上田市合併十周年記念事業」「上田商工会議所創立百二十周年記念事業」として、武田流・大日本弓馬会の門人らと協力し、上田陸上競技場で、流鎗馬を行いました。二十七年前に一度上田市中心公園にて流鎗馬が行われましたが、資料としては写真以外何もなく、手さぐり状態のままスタートしました。

三月より毎週土曜日に打ち合わせを行い、上田市弓道協会から二十五名が参加し、進行、運営、諸役(流鎗馬奉納の進行役)と尽力しました。当日までは計画通りに進まない事もありましたが、皆成功に向け団結、これも日々の修練の賜物。前日になり諸役の十四名においては、炎天下での扇の振り、太鼓の合図、又足がなか



なか合わず、本番宛らの練習が夕方まで続きました。

いよいよ当日。弓道会の仲間は集合時間の三十分前に集まりました。開演時間が迫り緊張もありました。馬の搬入も終わり、陸上競技場までの行軍も始まりました。

整備された馬場を、疾走する馬の迫力や、馬上からの鎗矢を射る騎手方々の技術は圧巻で、晴天の中に何度も歓声と騎手への応援の声飛び交い、千三百人という大勢の観客を魅了し大成功となりました。二日間とも真夏日でしたので記念写真を撮ったら、誰が誰だか、分からない位に皆、真黒に日焼けしていました。皆の集中力と、流鎗馬に掛ける思いが苦勞を喜びに変えてくれ貴重な体験となりました。伝統を復活させる事ができたので、今後も継続して行く事を願っています。一つの目標を成し遂げた団結力をいかし、和気藹々と良い雰囲気の中、日々修練し、個々も目標に向けて、精進していきたいと思っています。

大会結果

第6694回 諏訪神社御射山奉射会 近県弓道下諏訪大会

平成28年8月28日(日)

下諏訪町菅弓道場・陸上競技場仮設遠的場 参加人数・高校120名、一般47名、合計167名

奉射(遠的4射)

- 1位 岩原 祐貴(岡谷) 4中
2位 蟹澤 史弥(駒ヶ根F) 4中
3位 堀口 修(恵那) 3中
4位 川村 綾美(すわ) 3中
5位 柴 翔太(岡谷) 3中

近県大会

個人の部(奉射遠的4射+近的4射)

- 1位 蟹澤 史弥(駒ヶ根F) 7中
2位 岩原 祐貴(岡谷) 6中
3位 手塚信一郎(伊那A) 6中
4位 川村 綾美(すわ) 5中
5位 柴 翔太(岡谷) 5中

団体の部(24射)

- 1位 岡谷(柴翔太、岩原祐貴、上野曜) 14中
2位 駒ヶ根F(蟹澤史弥、菅部洋輔、馬場絢音) 13中
3位 すわ(内山寿美、川村綾美、内山喜照) 12中

第62回 大町市市制記念県下弓道大会

平成28年8月28日(日)

大町市運動公園弓道場

参加人数・高校71名、一般63名、合計134名

遠的個人の部(8射)

- 1位 山崎 充夫 7中
2位 藤澤 敏恵 6中
3位 柳澤 真純 6中

近似的個人の部(8射)

- 1位 宮原 勝弘 7中
2位 古川 和拓 6中
3位 田中龍之介 6中
4位 依田 優太 6中
5位 百瀬 大輝 6中

近似的団体の部(12射)

- ▲高校
1位 美須々C(百瀬大輝、小池寛志、東城杏太) 8中
2位 美須々A(廣瀬豪則、辻智紀、古川和拓) 7中
3位 穂高商業C(松田拓之、田中龍之介、宮田悠悟) 6中

▲一般

- 1位 混合(武川勇、宮原勝弘、伊藤公二) 8中
2位 小諸弓道会(浅石美由紀、浅石拓真、依田優太) 7中
3位 真田丸(手塚信幸、武舎和美、村松和彦) 7中

第31回 北信地区高校弓道大会

平成28年8月28日(日)

長野運動公園弓道場

参加人数・男子232名、女子27名、合計509名

▲個人の部(8射)

- ▲男子
1位 中澤 恭平(中野立志館C) 7中
2位 伊藤 颯(長野日大G) 6中
3位 内村 勇亮(篠ノ井D) 6中
4位 松沢光一郎(須坂B) 6中
5位 永峯 克将(文化学園長野) 6中

▲女子

- 1位 芦澤 瞳実(飯山A) 7中
2位 福田 萌(市立長野G) 7中
3位 保科 由紀(長野吉田B) 7中
4位 山田 佳苗(長野西A) 7中
5位 木村 光菜(長野吉田D) 6中

団体の部(24射)

- ▲男子
 - 1位 屋代D(荒川祐太、宮坂啓佑、坂戸良紹)
 - 2位 中野立志館C(中澤恭平、米持郁矢、吉田壮汰)
 - 3位 長野日大G(伊藤颯、田中一夢、岡田卓也)
- ▲女子
 - 1位 長野日大E(井堀希唯、吉岡愛珠、黒岩あこ)
 - 2位 長野西A(中野伶美、小林陽南子、山田佳苗)
 - 3位 長野吉田B(中島杏歌、保科由紀、村山柊花)

信州ねりんピックスポーツ交流大会
弓道競技

○平成28年9月10日(土)
大田市運動公園弓道場

近的個人の部

- 1位 金原 正(佐久)
- 2位 渡辺 敏夫(大北)
- 3位 山田 清夫(松本)

無相大師奉賛弓道大会・高校の部

○平成28年9月11日(日) 中野市弓道場

個人の部(8射)

- 参加人数:478名
- ▲男子
 - 1位 土屋 息吹(長野吉田)
 - 2位 高橋 一夢(長野商業)
 - 3位 江村 堅斗(須坂)
- ▲女子
 - 1位 野中 咲良(須坂)
 - 2位 中島 三和(文化学園)
 - 3位 吉岡 愛珠(長野日大)

団体の部(24射)

- ▲男子
 - 1位 須坂B(高橋功祐、常田佳裕、松沢光一郎)
 - 2位 須坂D(小泉楓真、藤澤航平、江村堅斗)
 - 3位 長野吉田C(和里田凌太、土屋息吹、井出圭祐)
- ▲女子
 - 1位 長野吉田D(木村光奈、雨宮陽菜、山口朝香)
 - 2位 長野日大E(井堀希唯、吉岡愛珠、黒岩あこ)
 - 3位 長野西G(中野伶美、小林陽南子、山田佳苗)

第58回塩尻市武道大会弓道競技

○平成28年9月18日(日) 塩尻市弓道場
参加人数:中学12名、高校167名、一般52名、合計231名

個人の部(10射)

- 1位 宮原 勝広(塩尻)
- 2位 吉江 美佳(松本嬢)
- 3位 原 浩平(木曾青峰D)
- 4位 横内 陸(穂高商業A)
- 5位 征矢 将弘(混合A)

団体の部(12射)

- ▲中学
 - 1位 安曇野JSCD(浅輪大二郎、田守朱羽、小原優夏)
 - 2位 安曇野JSCC(渡邊汐音、庭屋あおい、醍醐葵)
 - 3位 安曇野JSCB(羽場紅留実、吉川沙夕、池田千紘)
- ▲高校
 - 1位 穂高商業A(福嶋瞭典、横内陸、後藤敏貴)
 - 2位 松商学園女子A(西堀彩夏、相場卯衣、中島優衣)
 - 3位 木曾青峰D(原浩平、早川匠、木戸智裕)

一般

- 1位 塩尻(佐藤麻由、官林夕夏、宮原勝広)
- 2位 松本嬢(吉江美佳、松嶋孝子、丸山淳子)
- 3位 チームSMA(関正幸、町田真由美、荒木義博)

第66回県下弓道岡谷大会

○平成28年9月19日(月・祝)
岡谷市総合体育館弓道場

個人の部(8射)

- 参加人数:高校194名、一般33名、合計227名
- ▲高校
 - 1位 矢澤 直生(諏訪二葉B)
 - 2位 平林 大樹(上田東)
 - 3位 飯島 千陽(諏訪二葉a)
 - 4位 堀江ゆうた(吉田とゆかいな仲間たち)
- ▲一般
 - 5位 中村 愛海(岡谷東女子A)

団体の部(24射)

- ▲高校
 - 1位 岡谷南(玉川晃聖、有賀一生、藤森由裕)
 - 2位 諏訪二葉B(岡谷匠馬、上原嘉紀、矢澤直生)
 - 3位 岡谷東男子A(百瀬優大、宮坂泰平、増澤史晃)
- ▲一般
 - 1位 岡谷A(岩原祐貴、高坂彩水、柴翔太)
 - 2位 駒ヶ根A(馬場絢音、蟹沢史弥、芦部洋輔)
 - 3位 岡谷B(味澤拓真、赤沼聡太、宮崎直人)

第36回長野市民体育祭弓道大会

○平成28年10月9日(日)
長野運動公園弓道場

参加人数:中学9名、高校男子140名、高校女子174名、一般40名、合計363名

個人の部(8射)

- ▲中学
 - 1位 徳嵩 尚紀(文化学園長野)
 - 2位 井戸井星良(文化学園長野)
 - 3位 宮澤 智哉(長野日大)
 - 4位 田口 維吹(長野日大)
 - 5位 小林 由季(長野日大)
- ▲高校男子
 - 1位 間宮 勇太(長野A)
 - 2位 中村 隼人(長野工業B)
 - 3位 傳田 匠(長野吉田C)
 - 4位 轟 雅文(長野日大E)
 - 5位 平林 司(長野工業A)
- ▲高校女子
 - 1位 木村 光菜(長野吉田D)
 - 2位 吉岡 愛珠(長野日大C)
 - 3位 中島 杏歌(長野吉田B)
 - 4位 小坂紗貴子(長野C)
 - 5位 新井 瞳(文化学園長野A)

団体の部(24射)

- ▲高校男子
 - 1位 長野吉田D(佐藤光、土屋息吹、本澤隼人)
 - 2位 長野商業B(丸山樹、西澤志朗、高橋一夢)
 - 3位 長野日大E(轟雅文、後藤友作、宮尾智哉)
- ▲高校女子
 - 1位 長野C(今村佳世、小坂紗貴子、田幸里菜)

第65回 上田市民総合体育大会弓道競技

平成28年10月9日(日)

上田城跡公園弓道場
参加人数：高校男子59名、高校女子55名、
一般20名、合計134名

個人の部(8射)

- ▲高校男子
 - 1位 伊藤 優斗(上田東)
 - 2位 永井 翔太(上田千曲)
 - 3位 岩佐 健(上田)
- ▲高校女子
 - 1位 山浦 桐子(上田)
 - 2位 小宮山 欄(上田染谷丘)
 - 3位 関 七聖(上田千曲)

▲一般

- 1位 村松 和彦
- 2位 藤森千友貴
- 3位 黒岩 宥人
- ▲一般女子
 - 1位 武舎 和美
 - 2位 チュンピタス
 - 3位 中島 洋子

第59回 松本市民体育大会 秋季弓道大会

平成28年10月10日(月・祝)

松本弓道場
参加人数：高校145名、一般69名、合計214名

▲個人の部(8射)

- 2位 長野吉田B(中島杏歌、春原か乃、吉沢正花) 13中
- 3位 長野吉田D(木村光菜、保科由紀、山口朝香) 12中
- ▲一般
 - 1位 尚弓会B(長峰哲、倉田亮輔、細田尚) 16中
 - 2位 竟成会(宮島さおり、棚田千鶴、伊藤梓) 15中
 - 3位 長野運動公園D(町田孝夫、赤芝眞平、白澤恒夫) 10中

▲団体の部(24射)

- ▲高校
 - 1位 松商学園E(百瀬惇矢、大島新太、奥田夏希) 15中
 - 2位 松商学園A(西堀彩夏、神林里菜、中島優衣) 14中
 - 3位 美須々男子D(中島裕紀、大久保大和、小池覚志) 14中
- ▲一般
 - 1位 信州大学医学部a(川尻美和、田畑遼、掛川恭吾) 16中
 - 2位 信州大学D(松崎茜、大月颯真、柴田惇之介) 15中
 - 3位 チームすぎちゃん(真関志野、中田美千、杉田博) 15中

平成28年度 長野県高等学校新人大会

平成28年10月15日(土)・16日(日)

塩尻市弓道場
参加人数：593名

▲個人の部(12射)

- ▲男子
 - 1位 小口 琉矢(岡谷工業)
 - 2位 佐藤 夏樹(伊那弥生ヶ丘)
 - 3位 高木 智秋(上田)
 - 4位 奥田 夏希(松商学園)
- ▲女子
 - 1位 奥田 夏希(松商学園E)
 - 2位 小池 覚志(美須々男子D)
 - 3位 宮原 杏奈(松本蟻ヶ崎G)
 - 4位 田中 一輝(松本蟻ヶ崎D)
 - 5位 岸本 侑子(松商学園B)

第14回 千曲市長杯弓道大会・一般の部

平成28年10月16日(日) 千曲市弓道場

参加人数：32名

▲個人の部(8射)

- ▲男子
 - 1位 長野吉田B(佐藤光、土屋息吹、本澤隼人、松本航歩)
 - 2位 上田千曲A(永井翔太、山本風輝、細野稀理、佐藤賢治)
 - 3位 松本美須々ヶ丘B(辻智紀、原佑輝、安藤ひかり、小池覚志)
- ▲女子
 - 1位 長野西A(中野伶美、小林陽南子、山田佳苗、宮下優衣)
 - 2位 飯田A(入香江、倉園梨花、代田結万、兼宗遥)
 - 3位 飯田女子B(伊藤美月、土岐彩乃、日置瑞生、近藤瑠美果)

第72回 県下南信弓道大会

平成28年10月23日(日)

県営飯田弓道場
参加人数：高校205名、一般49名、合計254名

▲個人の部(8射)

- ▲高校一年生
 - 1位 三浦 駿平(岡工A)

第53回 池田町弓道場開設記念県下弓道大会

平成28年10月30日(日)

池田町総合体育館弓道場
参加人数：高校156名、一般65名、合計221名

▲個人の部(8射)

- ▲高校
 - 1位 柏原 朱里(美須々女子C)
 - 2位 小松 誠(穂高商業C)
- ▲一般
 - 1位 熊谷 桃(飯田女子D)
 - 2位 間瀬 敬叶(風越F)
 - 3位 筒井 真斗(風越E)
 - 4位 三澤 菜緒(伊那北C)
 - 5位 松尾 優(風越B)

▲団体の部(個人戦兼)

- ▲総合優勝
 - 井原 寿恵(豊丘)
- ▲団体の部(個人戦兼)
 - 1位 上郷B(一般(下平春夫、坪井優、藤澤敏子)) 17中
 - 2位 飯田A(高校(原拓也、本塩竜哉、水尻雄也)) 16中
 - 3位 豊丘(一般(井原寿恵、唐沢徳、松枝敏広)) 16中

- 3位 中嶋 萌夏(美須々女子C)
- 4位 横内 陸(穂高商業A)
- 5位 有賀 一生(岡谷南A)

- ▲一般
- 1位 松嶋 孝子(松本嬢)
- 2位 谷 敏子(大町A)
- 3位 宮原 勝広(塩尻)
- 4位 川村 綾美(上諏訪)
- 5位 中田 美千(松本嬢)

- ▲高校
- 1位 美須々女子C(中嶋萌夏、延藤風花、柏原朱里)
- 2位 穂高商業A(田中龍之介、青柳隼人、横内陸)
- 3位 岡谷南A(玉川晃聖、飯田一輝、有賀一生)

- ▲一般
- 1位 上諏訪(野澤和樹、川村綾美、飯野勇希)
- 2位 松本嬢(高際和美、松嶋孝子、中田美千)
- 3位 大町A(谷敏子、伝刀恵美、守屋道則)

第14回千曲市長杯弓道大会・高校の部

○平成28年11月3日(木・祝)

千曲市弓道場
出場チーム…男子42チーム、女子38チーム

- ▲男子
- 1位 上田東(伊藤優斗、大塚一平、平林大樹、山越涼也、坂口翔太郎)
- 2位 長野吉田A(宮澤達也、北村竜也、黒坂勇貴、和里田凌大、傳田匠)
- 3位 長野工業A(中村隼人、竹内慎之祐、平林司、伝田悠哉、海谷大輔)

- ▲女子
- 1位 長野B(小坂紗貴子、今村佳世、田幸里菜、塩島虹歩、種村正美)
- 2位 長野吉田B(木村光菜、春原か乃、保科由紀、山口朝香、金井麗夏)
- 3位 中野西A(中川朱里、後藤美樹、國本莉奈、高木歩夢、春原知果)

- ▲個人
- 1位 田尻 春満(木曾青峰B)
- 2位 上原 慎司(木曾青峰B)
- 3位 保科 拓哉(県陵男子B)
- 4位 奥田 夏希(松商男子A)
- 5位 曾根原優乃助(松商男子C)

第28回松本城奉射弓道大会

○平成28年11月3日(木・祝)

松本弓道場
参加人数…高校176名、一般72名、合計248名

- ▲高校男子
- 1位 中嶋 優衣(松商女子A)
- 2位 矢澤 柚衣(木曾青峰C)
- 3位 太田 夏子(豊科B)
- 4位 松澤 遥香(大町岳陽B)
- 5位 岸本 侑子(松商女子B)

第46回北信越弓道選手権大会

○平成28年11月13日(日)

長野運動公園弓道場

- ▲一般
- 1位 中澤 優衣(信州大学B)
- 2位 西澤 徹(鹿島)
- 3位 水上 和(信州大学E)
- 4位 小野 友樹(信州大学C)
- 5位 豊田 浩正(甲府A)

- ▲個人
- 1位 小田切祐典
- ▲女子有段者
- 1位 柳澤 真純
- ▲称号受有者
- 2位 平澤 敏弘
- 3位 亀岡 英司

- ▲男子有段者
- 1位 長野(蟹澤史弥、小田切祐典、藤森千友貴)
- ▲称号受有者
- 2位 長野(亀岡英司、志村仁、平澤敏弘)

- ▲総合
- 1位 長野県

昇段昇格者

▽「北信越地区」臨時中央審査

▽六段の部平成28年9月11日

白澤 恒夫(長野支部)

▽錬士の部平成28年9月10日

清水 北登(佐久支部)

▽「東京」定期中央審査

▽錬士の部平成28年11月5日

平澤 敏弘(飯伊支部)

▽「東海地区」錬士臨時中央審査

▽錬士の部平成28年11月13日

中沢たみ江(佐久支部)

礼記射義

「礼記射義」と「射法訓」、何処の道場にも額に入って正面に掲げてあります。「礼記射義」の「礼記」は孔子が煩雑な礼を纏めた書物です。その中の「射義編」なのです。出来たのは二千五百年前、日本に伝わったのが千五百年前と言われています。では射義とは何でしょう。射技ならば直ぐ解るのですが…

「義」を調べると「人として守るべき正しい道」の意味があります。そうすると、「射を行うにあたって必ずしなければならぬ正しい事」です。礼の中の射義なので「射は進退周還必ず礼に中り…」となるのです。仕事の帰りに時間がないからと急いで数だけ引いている私には耳の痛い話です。さて皆さんはどうでしょう？

ちなみに、礼記射義の頭には「故に」があるのです。ということはその前にも云々がある訳で…、興味のある方はぜひ調べてみてください。礼記射義の見方が変わるかもしれません。

広報部長 荒川 保